

## 概要

- 開発目的  
5～10万人規模の都市への電力と熱供給（10万kWt程度）、原子炉技術の導入による関連産業（燃料、その他）の育成及び電力、熱、将来的には水素等の原子炉エネルギーを利用した新産業の創生
- 開発目標  
熱出力：50MWt、冷却材出口温度：750℃/900℃
- 開発経緯  
ナザルバエフ大統領方針：「先進30カ国に入るため、資源を売るだけでなく、電力独立と産業創生による雇用の拡大を図る。」（2012年12月14日、国民に対する教書演説）<sup>1)</sup>
- 開発の状況  
KHTR事前成立性評価（Pre-FS）が終了（2008年9月）。

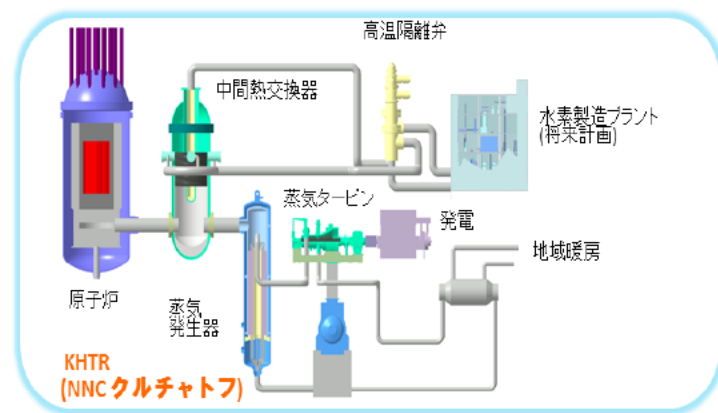
## 主要な組織

国立原子力センター（NNC）、核物理研究所（INP）、  
アルファラビカザフ国立大学（KazNU）、カザフスタン原子力委員会（KAEC）

## 計画スケジュール

- カザフスタンの原子力に係る国家発展プログラム（2011年6月政府布告）におけるKHTR計画(\*)  
2015年以降：成立性評価（FS）開始予定  
2017年以降：基本設計開始予定  
2021年以降：試運転開始予定

(\*) 高温ガス炉に関する予算要求が停止されており、現時点では実態に即していない。



クルチャトフ市に建設予定のKHTR

## 外国との連携状況

日本（原子力機構、東芝他）が、計画立案・プラント設計・技術・教育等に、全面的に協力

## 資金源

国の資金で実施